

# 議員提出議案

定例会最終日(3月25日)に、「道路特定財源の確保に関する意見書」など3議案が議員から提出され、次の2議案を原案のとおり可決しました。

なお、可決した意見書は、国会及び関係行政庁へ提出しました。

## ◆道路特定財源の確保に関する意見書(要約)◆

道路整備は、市民生活の利便、安全・安心、地域の活性化にとって不可欠であり、住民要望も強いものがある。

現行の道路特定財源の暫定税率が廃止された場合、地方においては約9千億円、さらに地方道路整備臨時交付金制度も廃止された場合には、合わせて1兆6千億円規模の減収が生じる。厳しい財政状況の中で、本市においても道路整備は深刻な状態に陥ることとなる。

さらには、本市の財政運営を直撃し、教育や福祉といった他の行政サービスの低下など市民生活にも深刻な影響を及ぼしかねないことにもなる。

◆食料の安全安心の確保のため自給率の向上を求める意見書(要約)◆

農水省の調査によれば、我国の農業従事者・消費者ともに90%以上の人々が食の確保への不安を訴え、自給率の向上を求めている。「国民を飢えさせない」という国家の役割の原点に立って食料の安全・安心のため、そして自給率の向上のため、国を挙げて地産地消などを推進し、更に国内産の食料の確保とそのための農業の育成を柱とした具体的な施策を早急に講ずることを強く要望する。

# 議会閉会中のイベント

## 議員研修会

2月1日、市議会全員協議会室において、総務省自治財政局財政調査課長の青木信之氏を講師に招き、「地方財政の諸課題と健全化法について」をテーマに議員研修会を開催しました。

講演は、地方公共団体財政健全化法の解説を中心に、昨今の話題となつている道路特定財源についての説明なども交え行われました。その後、議員から活発な質疑や意見交換が行われ、大変有意義な研修会でした。



## ◆◆インフォメーション◆◆

### 中学生まちづくり議会が開催されました

1月29日、市議会議場において、市内4中学校の生徒による「第2回本庄市中学生まちづくり議会」が開催されました。

中学生まちづくり議会は、次代を担う中学生が市議会議場を体験することで、市政への関心と理解を深めてもらうことを目的に毎年度開催しているものです。今回も30名の中学生議員が出席し、中学生の視点による市政への一般質問が行われました。

### 市議会を傍聴しませんか!

議場で市政の動きを実感しませんか。

本会議は、どなたでも傍聴することができます。議会事務局での簡単な受付のみで、いつでも入場(退場)できます。

## 6月定例会の予定

6月11日(水) 10:00～	議案説明
6月12日(木) 10:00～	議案質疑
6月24日(火) 9:30～	一般質問
6月25日(水) 9:30～	一般質問
6月26日(木) 9:30～	一般質問
6月30日(月) 10:00～	議案採決

副議長	委員	委員	委員	委員	委員	委員	委員
高橋	林	早野	高橋	大塚	田中	広瀬	鈴木
清一	富孝	和行	美清	輝好	伸一	光男	常夫

編集後記

建設中であつた児玉中学校の体育館が完成し、卒業式が喜びの中で執り行われました。「歳月人待たず」次代を担う子どもたちが日々をおろそかにすることなく、未来に向かって大きく羽ばたいて欲しいと願っています。そんな彼らの未来のために、将来の本庄市が誇りの持てるまちとして創造出来るよう努力することは市議会の責務でもあります。

市の将来像である「あなたが活かす、みんなで育む、安全と安心のまち本庄」世のため、後のため」を実現するために、市民、議会、行政が一体となつてまちづくりが推進できるようお願いいたします。